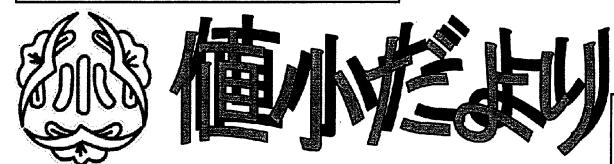


回覧



島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成29年 5月19日 第4号

校長 酒井 元治

天気予報は曇り時々晴れ



いよいよ21日（日）は運動会。当日の天気予報は曇り時々晴れ、最高気温は25℃、降水確率は20%です。昨年のはらはらする天気とは違って、今年は安心して当日を迎えるそうです。

さて、運動会当日に先立って、17日（水）は総練習を行いました。総練習を行う目的は、係の児童がその動きを確認することです。運動会と言うと、それぞれの競技がクローズアップされるのは当たり前ですが、それを裏で支える係の子どもたちの動きも運動会を支える大切な要素です。「運動会をみんなでつくりあげる」といった、協力することの大切さを実践で育む場でもあります。総練習では、まだ係の仕事に慣れていない子どもたちの様子も見られたのですが、きびきびと動こうとする姿、仕事を自分で探そうとする姿が多く見られました。運動会当日はこんな係児童の様子も見ていただければ幸いです。

また、5・6年生がしっかりとリードしている応援団。高学年が声を枯らして応援している姿を見て、入学したばかりの1年生も小さな体から思いっきり声を張り上げての応援です。ここにもご期待ください。

小値賀小学校運動会は

5月21日（日） 9：20開会

雨天の場合には体育館で行います。もし、終日雨天で運動場が使えなかった場合には、一部のプログラム(走競技)を23日(火)に行う予定です。

駐車場は体育館前と農産物加工場(旧中学校跡地)横をご利用ください。

応援団長より一言



赤組のみんなをまとめて、大きな声を出して、「赤組強そう、がんばれ！」と思ってもらえるように、がんばります。

赤組団長 6年

濱田 勢羅

「最後の最後まであきらめず、がんばってるなあ。」と町の人全員に思ってもらえるような行動や競技をしようと思います。

白組団長 6年

川村 聖斗



お願ひ



日に日に暑くなり、運動会当日は快晴であれば気温が高くなることも予想されます。まだ、暑さに十分に慣れているとは言えない子どもたちです。十分な水分補強をさせるため、水筒いっぱいのお茶等を持たせてください。また、お昼の休憩時にはお茶等の補給ができるようご家庭からの準備もお願いします。

わいわいミーティング

小値賀小学校には以前より「わかめ班活動」という取組があります。これは、1～6年生までを6つのグループにした縦割りの班活動です。校歌の1番に出てくる「丈夫な若芽を育てましょう～♪」からとった「わかめ(若芽)班」です。年間数回いっしょに給食をとったり、昼休み遊んだり、掃除をしたりする活動を行っています。今年はこの縦割りグループで話し合い活動をさせてみようと思い昨日(18日)にさっそくその1回目を実施しました。この話し合い(わいわいミーティング)の目的は以下のようなものです。



1 異年齢の子どもたちの考え方や意見を受け入れる態度を育てる。

子どもたちが社会に出れば、年上・年下に限らずいっしょに仕事をすることになります。社会集団という方向から学校の学年や学級という集団を考えると、同じ年の人間だけで構成されるこの集団はある意味異質です。(社会に出ればそんな企業はほとんど存在しないということです。)年の違った人の意見も聞き、受け入れ、自分を表現することを小学校から鍛えたい、それも楽しさを伴う形で、というのがこのミーティングの意味です。

2 表現する意欲と自信を育てる。

高学年は低学年に向けて自分の考えを表現することで、表現する意欲と自信を深める。低学年は高学年の表現する様子を見て、「自分も何か言おう」という意欲とその姿をまねようとする。

私たち教師が「発表してごらん。」と背中を押すより、話したくなる雰囲気とそのお手本を直に見せることです。



さて、1回目の昨日のお題は、運動会直前でもありますから、「日本一楽しい運動会にするために」です。私が、黒板に書いてお題を発表。みんなが「日本一楽しい」と思える運動会にするためにはどうしたらいいか、または、してはいけないことは何かを15分ほど話し合いました。その後、リーダーの6年生が発表します。話し合いの様子を見ていると、上手に低学年の話を引き出そうとする高学年、おもしろい発想で突拍子もないアイデアを出す低学年。なかなかおもしろい話し合いでした。出された意見を紹介します。

まずは、現実的で真面目な意見から。

- ・負けても文句を言わない。
- ・全力で最後まで走りきる。
- ・声を出す。
- ・綱引きで息を合わせる。
- ・励ましの声をかける。
- ・行動を素早くする。
- ・係の仕事をちゃんとやる。競技と競技の合間をきちんとする。
- ・思いっきり盛り上げる。
- ・相手チームに文句を言わない。



まあ、私たち教師が口にするようなことですが、これを自分たちで考え、口に出すのが大切だと思います。異年齢のグループの中で確かめ合うことで何かしら子どもたちに残っていることを期待します。

突拍子もないおもしろい意見は、次のようなものです。

- ・赤白帽子の中にクーラーをつける。(着ぐるみのミニ扇風機でも想像したかな。)
- ・いろんな人が参加できる運動会。
- ・スペシャルゲスト(大谷翔平とか)が来る運動会。
- ・全部障害物競走の運動会。
- ・紅白対抗リレーに全員参加。(1～6年生までの全員リレー)
- ・優勝したチームに賞品がある。

現実的には難しいものが多いのですが、中にはなるほどというものもありました。こんな発想の豊かさがおもしろいですね。

今後もこの「わいわいミーティング」やってみたいと思います。